

見どころ満載!! 高岡古城公園散策コース

高岡古城公園のあらまし

高岡古城公園は、慶長14年(1609年)に加賀前田家二代当主前田利長公によって造られた高岡城の跡地です。明治初期に分割して民間に払下げの危機をむかえましたが、服部嘉十郎らの努力によって、明治8年(1875年)7月、公園に指定されました。総面積の3分の1が水濠で築城時のまま残っていることに価値があります。現在では、園内には1,800本余りある春の桜、秋の紅葉など自然あふれる水濠公園として市民に親しまれています。江戸城、弘前城と並ぶ日本有数の水濠公園です。

高岡市では、にこにこ笑顔の毎月25日は「たかおか健康づくりの日」としています。この日はご自身やご家族で、地域で、健康づくりに取り組みましょう。



① 小竹藪

城跡の一番北の隅にあたる。縄文時代の遺跡である。周囲は多くの桜やスダジイの大きな木が見られる。



② 中の島

中の島は、明治40年(1907年)に畑の部分を掘り造成したものです。毎年、万葉集朗唱の会が北内濠池に浮かべた特設舞台上で盛大に行われている。



③ 石垣

本丸と二の丸を結ぶ土橋の両側に見られる石垣は、築城当時の石が積み重ねられている貴重な遺構である。

